

松山市教育会情報

発行所 松山市教育会
松山市祝谷町1-5-33
☎ 089-933-0354
発行者 亀井 壽一
編集 調査研究部

今、自分にできることから



会長
亀井 壽一



怒和小学校の運動会を見守る雲

このたびの東日本大震災、津波で被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

被災された皆様の元気な笑顔と幸せな生活が、一日も早く戻りますよう心からお祈りします。これまで人類が経験したことのない巨大地震と津波は、東北地方の太平洋沿岸地域に壊滅的な被害を及ぼしました。マスコミで報道される光景は、悪夢のようで信じられず、胸が痛み、涙する毎日でした。自然のもつ巨大なエネルギーの前での人間の無力さ、どうすることもできない自分自身のもどかしさを痛感しました。また、原発事故がさらに追い打ちをかけ、二重、三重の被害となったこの大震災を、すべての日本人が一丸となって乗り越えなくてはなりません。一日も早い復興を願う一人一人の力を結集すれば、大きな力に変えることができると信じます。

この未曾有の災害を通して、忘れがちであった一番大切なもの、生きる命の尊さ、支え合う人の絆の大切さ、人を育むふるさと大切さなど、多くのことを改めて考えさせられました。

さて、松山市教育会の平成23年度が始まりました。私も会長として2年目を迎えました。昨年度の努力目標は、現職と退職会員の連帯意識・会員意識の高揚、研修の充実、各支部活動とブロック活動の活性化を図ることなどでした。会員の皆様が、それぞれの立場で課題解決のため尽力くださり、成果を上げていただきましたこと、大変ありがたく感謝申し上げます。

今年度は、さらなる市教育会の活性化のため、事業等の改善、充実に努めたいと思います。「まつやま教育フォーラム」では、「えひめ教育の日」関連行事として、さらに幅広い参加者の拡充に努めること、また、「教育講座」では、現職会員の指導力向上に役立つため、優れた教育実践をもつ退職会員を講師に活用して成果を上げていますが、新たな講師人材を発掘すること、「人材バンク」事業においては、学校現場のニーズに応じた講師派遣ができるよう改善して、より学校現場と連携した事業にしていくこと、「囲碁・文化講座」事業では、会員交流の場として現職教員の参加を増やす工夫をすることなど、今年度の改善したい課題と考えています。

支部活動については、会員の高齢化や会員数の減少など課題も多いなか、各支部長を中心に、支部のさらなる活性化のため、活動の工夫・充実に努めていただいております。また、昨年度より予算化されたブロック活動については、地域の実情に合わせてブロック内の情報交換・交流活動等を実施し、できることから一步一步前進させていくようご協力をお願いします。

会員の皆様の豊かな経験と力を結集すれば、ふるさと松山の教育、子どもたちの未来を切り拓く原動力になると確信します。今、自分にできることから始めようではありませんか。

※「坂の上の雲」にちなんで、雲の写真を募集しています。事務局へお寄せください。

平成22年度 会務並びに事業報告

松山市教育会

1 会員構成

		平成22年度	平成21年度	増減	備考
正会員	現職	2,258名	2,251名	7名	会費納入者数
	OB	1,163名	1,188名	△25名	
名誉会員 (OB)		14名	17名	△3名	
準会員		4名	4名	0名	元会員家族
賛助会員 (PTA等)		33名	46名	△13名	
合計		3,472名	3,506名	△34名	

2 役員 (定期総会で選出・任期2年)

会長	亀井 壽一	副会長	石丸 正
副会長	関谷 芳郎	監事	久坂 文治
副会長	森田 雅幸	監事	武智 修治
副会長	清水 昇		

※理事・専門部員は省略

3 行事報告

月	日	行事名	概要
4	1	退職会員名簿作成申込書	前年度末退職会員から支部を通じて提出
4	20	会計監査	監査
4	20	役員会 (会長・副会長)	事業報告・決算・活動方針・予算案等の審議
4	27	第1回 理事会	総会資料の審議
5	10	総会役員打合せ会	総会運営の審議
5	15	定期総会	事業報告・決算・活動方針・予算・役員改選 (全議案原案通り可決)
5	15	会費集金開始	納入期限 7月5日
5	27	第2回 理事会・専門部会	部編成・活動計画・支部長会資料審議
7	21	支部活動費支給	～7月30日
7	23	第1回 支部長会	行事計画・ブロック活動計画
7	25	囲碁大会	上級・中級・初級 (A・B) の級別に実施
8	9	教育講座	学級経営 (石丸 淳先生)
8	11	教育講座	道徳 (村上 伸二先生)
8	18	日連教愛媛大会	～8月20日 (県民文化会館ほか)
8	23	教育研修大会	「認知症にならないこつ 脳卒中で倒れないこつ」
9	6	第3回 理事会	支部長会・まつやま教育フォーラム22等運営審議
9	6	高齢者慶祝記念品配布	市内各支部へ配送
9	30	人材バンク募集	登録募集の文書配布 (締め切り11月末日)
9	30	教育功労者募集	登録募集の文書配布 (締め切り12月10日)
11	1	えひめ教育の日推進大会	
11	6	まつやま教育フォーラム22	えひめ教育の日関連事業 参加者170名
1	12	人材バンク一覽	「人材バンク指導者一覽表」配布
1	18	教育功労者推薦委員会	推薦者審議
2	8	第4回 理事会	本年度の反省・教育功労者の推薦審議
2	22	第2回 支部長会	本年度の反省・教育功労者の推薦・次年度の計画審議

4 主要行事及び専門部活動

- (1) 「まつやま教育フォーラム22」
 11月6日(土曜日)「えひめ教育の日」関連行事
 ア 報賞式報賞者 (13名)
 イ 講演会演題「悠久のアラスカ」
 講師松本 紀生 氏 (写真家)
 ウ 懇親会参加者70名 (内、高齢慶祝者20名出席)
- (2) 調査研究部
 ア 教育講座
 (ア) 「実技研修講座」(学級経営)
 8月9日(火曜日) 91名出席
 講師 元県総合教育センター教科教育部長 石丸 淳 氏
 (イ) 「指導法研修講座」(道徳)
 8月11日(木曜日) 58名出席
 講師 前松山市教育会会長 村上 伸二 氏
 イ 会報「松山市教育会情報」
 71号 (6月1日発行)
 72号 (10月1日発行)
 73号 (2月1日発行)
 ウ 「文教月報」執筆協力
- (3) 福利厚生部
 ア 囲碁大会 …………… 7月25日(月曜日)
- (ア) 参加者17名
 (イ) 成績 優勝 準優勝
 (上級) 北岡 杉雄 氏 高須賀嘉夫 氏
 (中級) 橘 正年 氏 馬嶋 治男 氏
 (初級A) 山田 眞昭 氏 小池東三郎 氏
 (初級B) 平松 則重 氏 高木 毅 氏
- イ 文化講座
 (ア) 俳句交換会 毎月 11名
 講師 上原 勲 先生
 講師 近藤 良郷 先生
 (イ) ヨガ講座 月1回 (第2土曜日午後)
 15名 講師 藤本ヨガ学院の先生
 (ウ) 大正琴講座 月2回 (第2、4水曜日)
 9名 ※1回は自費
 講師 井上 多鶴子 先生
 講師 永井 美枝子 先生
 (エ) 川柳教室 月1回 (第3水曜日)
 18名 講師 関谷 省三 先生
- ウ 慶弔関係
 (ア) 高齢慶祝者
 傘寿 (本度中に満80歳を迎えられた方) 74名
 白寿 (本度中に満99歳を迎えられた方) 2名

(イ) 教育功労者 (平成21年度分)

総会にて表彰

県表彰 橋 正年 氏 (宮前)

市表彰 宮内 久司 氏 (小野)

森田 章夫 氏 (桑原)

仲田 吟子 氏 (北条南中)

愛媛県優良教員表彰 7名

愛媛県教育選賞表彰 4名

(オ) 会員物故者

OB会員 36名

現職会員 2名

(ウ) 報賞者

(本会役員在任4年以上の退任者)

フォーラム (報賞式) にて表彰

OB会員 8名

現職会員 5名

(エ) 現職表彰祝金該当者

文部科学大臣教育者表彰 2名

文部科学大臣優秀教員表彰 3名

(4) 対策部

ア 教育研修大会

8月23日 (火曜日) ※市教研と共催で実施

講演「認知症にならないこつ 脳卒中で倒れないこつ」

講師 松山市民病院 脳神経外科部長

角南 典生 氏

イ 人材バンク 登録者数 16名

平成23年度 活動方針並びに事業計画

松山市教育会

1 活動方針

(1) 組織の活性化

- ・支部活動の充実・強化及び地域ブロック活動の推進
- ・現職会員とOB会員との連帯提携の緊密化
- ・本支部間の連絡の緊密化
- ・未加入者の入会促進と賛助会員の勧誘による組織の充実強化

(2) 会員の親和と厚生・研修活動の充実

- ・調査研修活動の充実
- ・広報活動の充実
- ・現職会員の研修活動への支援強化（「教育講座」の充実）
- ・会員相互の親和連携の推進（懇親会の計画運営）

(3) 関係諸団体・地域社会との連携強化

- ・「えひめ教育の日」への参加協力と愛媛県教育会活動との連携
- ・青少年の健全育成活動と関係諸機関との連携
- ・公民館等の社会教育活動との連携
- ・学校教育活動への協力と支援

2 事業計画

(1) えひめ教育の日記念「まつやま教育フォーラム23」11月5日(土曜日)

- ・講演会教育講演会等（形式・内容等を検討中）

※開会式の中で、本会運営に貢献された方を褒賞

- ・懇親会、報賞者・高齢慶祝者の祝賀および会員の懇親

(2) 調査研究活動

- ・教育講座の開設(夏休みに2～3回程度)
- ・松山市教育研究大会に対する援助・協力
- ・組織局(壮年・青年部)への研修補助
- ・日連教大会への参加(研修補助)
- ・会報「松山市教育会情報」の充実(年3

回発行)

74号(6月1日発行)

75号(10月1日発行)

76号(2月1日発行)

- ・「文教月報」執筆協力

(3) 福利厚生活動

- ・各種同好グループの活動に対する育成援助

ア 囲碁大会の開催 7月24日(日曜日)

イ 俳句交換会 毎月

講師 上原 勲先生

講師 近藤 良郷先生

ウ ヨガ講座 月1回

(第2土曜日午後)

講師 藤本ヨガ学院

(脇坂 恭子先生)

エ 大正琴講座 月2回

(第2、4水曜日) ※1回は自費

講師 井上多鶴子先生

講師 永井美枝子先生

オ 川柳教室 月1回(第3水曜日)

講師 関谷 省三先生

- ・慶弔関係

ア 高齢慶祝者

傘寿(本年度中に満80歳になられる方) 63名

白寿(本年度中に満99歳になられる方) 1名

イ 物故者への弔慰(支部長と連携)

(4) 対策活動

- ・「松山市青少年育成市民会議」との連携・協力
- ・教育関係諸機関・地域社会との連絡提携とボランティア活動の推進
- ・「人材バンク」事業の検討(学校教育支援の方策)
- ・エスポワール愛媛文教会館の利用促進に関する啓発

平成23年度 松山市教育会役員名簿

役職名	氏名	学校・地区名	選出役職名
会長	亀井 壽一	味 生	
副会長	関谷 芳郎	さ く ら	
副会長	友澤 大身	南 中	市 教 研 会 長
副会長	烏谷 洋紀	生 石 小	小 校 長 会 長
副会長	其田 建一郎	道 後 中	中 校 長 会 長

OB

役職名	氏名	校区名
1 区理事	菅 田 顕	清 水
2 区理事	松 原 成 子	雄 郡
3 区理事	田 中 務	生 石
4 区理事	和 田 不 二 夫	宮 前
5 区理事	大 内 博 久	和 気
6 区理事	矢 野 肇	湯 築
7 区理事	宇都宮 正 男	石 井
8 区理事	菊 池 晶 子	北 久 米
9 区理事	川 端 一 志	難 波

現職

役職名	氏名	学校名	市教研役職名
理事	堀 田 優 子	石 井 小	市 教 研 副 会 長
理事	隅 田 浩	小 野 中	市 教 研 副 会 長
理事	越 智 裕 子	伊 台 小	市 教 研 副 会 長
理事	吉 本 孝 夫	久 枝 小	研 究 部 長
理事	後 藤 陽 三	桑 原 小	文 化 部 長
理事	乘 松 秀 樹	湯 山 小	法 制 対 策 部 長
理事	金 本 和 樹	中 島 小	情 宣 部 長
理事	中 尾 順 子	五 明 小	編 集 部 長
理事	山 田 重 明	小 野 小	福 利 厚 生 部 長

役職名	氏名	学校名	市教研役職名
専門部員	森 潔	内 宮 中	壮 年 部 代 表 男
専門部員	横 田 ひとみ	和 気 小	壮 年 部 代 表 女
専門部員	高 木 学	雄 新 中	青 年 部 代 表
専門部員	岩 本 正 昭	余 土 小	事 務 職 員 部 代 表
専門部員	城 本 すみ江	立 岩 小	へ き 地 部 代 表
専門部員	平 岡 洋 子	久 枝 小	養 護 教 員 部 代 表
専門部員	芳 居 洋 子	み どり 小	栄 養 職 員 部 代 表
専門部員	田 中 勝	み どり 小	小 学 校 教 頭 会 代 表
専門部員	小 林 一 郎	椿 中	中 学 校 教 頭 会 代 表
監事	久 坂 文 治		余 土 O B
監事	沖 幸 治	湯 築 小	市 教 研 監 事
事務局	久 野 哲 也	愛媛文教会館内	市 教 研 事 務 局
	上 松 和 子		

子どもたちにふるさと松山からの贈り物！

～「ふるさと松山学」教材作成事業～

「ふるさと松山学」とは、松山の先人や文化を学習に生かして、郷土に対する誇りや愛情、言葉の力を育てていこうとするものです。松山市の現職やOBの先生方の協力を得て、二つの教材本が完成し、4月に各校に配付されました。

～先人と文化の読み物教材～

「語り継ぎたい ふるさと松山 百話」第2部

松山の先人や文化に関する心に響くエピソードをまとめた物語集で、一話が10～14ページ程度でまとめられており、気軽に松山ゆかりの先人の足跡や文化に親しむことができます。

第2部 全3巻〈小学5年生～中学3年生用〉

第1巻 凛として立つ

「学問の真髄を極める」山路一遊 他 全21話
教育と政治関係者中心の構成です。志を立て、自らの信念を貫いた人々の生き方を取り上げています。

第2巻 人の活 まちの粋

「オーロラに駆けるサムライ」和田重次郎 他 全21話
明るく前向きに夢を追いかめた人々や、松山ならではの個が輝く文化を取り上げています。

第3巻 嬉しきは故郷なり

「俳句は文学である」正岡子規 他 全20話
正岡子規の周辺の人々やスポーツ・医療の分野で活躍した人々が、ひたむきに生きる姿を取り上げています。



第1部全3巻〈小学校1～4年生用〉は、23年度中に完成予定

松山市立の小中学校にセットで配付し、学習に役立てます。

略歴のページでどのような人物が表しています

読みやすい文章で本文を書き表しています

～俳句と言葉に関する教材～

「のぼさんと学ぶ俳句とことば 1・2」(小学校)

「子規と考える言葉・人・ふるさと」(中学校)

子規の俳句や伝統的な言語文化をテーマ別に編集した、俳句作りや暗唱にも生かせるテキストです。小学校向けの教材は、「のぼさん」がガイド役となり、子規の人生や俳句の世界を子どもたちに案内します。



創作・暗唱・読書を通して、言葉に親しむことができます

親しみやすい俳句をテーマ別に掲載しています

「のぼさんと学ぶ俳句とことば1」小学校1～3年生向け
子規の誕生から中学入学までを、全12章で俳句とともに紹介しています。

「のぼさんと学ぶ俳句とことば 2」小学校4～6年生向け
子規の上京してからの後半生を、全15章で俳句とともに紹介しています。

「子規と考える言葉・人・ふるさと」中学校1～3年生向け
子規の業績と子規の人生の2部で構成し、作品や手紙を通して、言葉、人、ふるさとについて思いをめぐらせることができます。

松山市立の小中学校にセットで配付します。また、全児童生徒に半額市費補助で配付します。

文化講座紹介

―二十二年会員の作品―

▲俳句交換会▼

朝寒やおのが命の砂時計

江戸 昌宏

湯のたぎる音にいやされ冬籠

小池 郁子

葉桜や眠る兵士らわが世代

河野 博

小康のデイの暮らしや年惜しむ

白石 典子

鷺一羽青田の景となりけり

大院 静子

灯を消してちゝろに返す深き闇

増元 晶尚

笹鳴ける山畑叩け叩けよと

三好 靖子

土筆煮て二人の膳のつゝましく

山内 之夫

父母祀る石手の寺に句を掲ぐ

渡部 登

▲川柳講座▼

合格の通知に桜パツと咲く

山口 雄三

道草ができなくなった通学路

柏井 正子

通過点ですカップの写る瞳が燃える

仙波 弘子

明日開く夢へ蕾の深呼吸

栗田 忠士

勸善懲悪いつも安心時代劇

姫田 祐輔

善が勝つ童話に飽きて読むゲゲゲ

岡本 恭子

究極の引越しになるあの世行き

上田 千鳥

おかえりのメモに鍵っ子救われる

上松 和子

訃報聞くやがて我が身と八十路旅

団上 一夫

メモばかりふえてメモする物忘れ

江戸 昌宏

逆上がりしたら大空ついてくる

川口 博子

焦らない日々好日の風任せ

平松 照子

仏にも鬼にもなつて子の躰

丹下 友和

百段のステップ折りある遍路

関谷 省三

愛ランド里島体験学習 in ごごしま

松山市教育委員会地域学習振興課では、小・中学生を対象に、体験学習を通じた人間力育成事業に取り組んでいます。「立岩ダッシュ村」、「坂本ぼんぼこ村」、「なかじま元気村」に続いて、本年度より、「愛ランド里島体験学習 in ごごしま」を開催しています。みかん栽培を中心に、漁業体験、釣島灯台や船踊りの文化遺産見学などの活動を予定しています。

	日程	活動内容	宿泊等
1回	6月4日(土)	開講式、みかん栽培体験(施肥、草引き) 小富士山登山	泊公民館
	6月5日(日)	郷土料理作り体験(たこ飯・ひじき天) 花植え活動、海岸清掃ボランティア	
2回	7月2日(土)	環境保全活動(釣島灯台周辺の清掃、ペンキ塗り) 釣島灯台見学	日帰り (家族参加OK!)
3回	8月20日(土)	みかん栽培体験(摘果) ミニ島四国、釣り体験	キャンプ (旧泊小学校)
	8月21日(日)	地引網体験 海鮮バーベキュー、海水浴	
4回	10月1日(土)	船踊り見学	日帰り (家族参加OK!)
5回	12月17日(土)	みかん栽培体験(収穫) 感謝会(新聞作り、発表)	日帰り (家族参加OK!)
6回	1月15日(日)	子どもまごころ産直市 (みかんや特産品の販売体験)	日帰り (家族参加OK!)